

分類	連携パターン	他の施策（防災、防犯など）との連携	—
		他の機関（他の自治体、警察、学校、企業など）との連携	○
		市民やNPOとの連携	○
	事業分類	9. その他施設・交通環境の整備	

【事例 20】小学校周辺での自転車走行指導帯の設置（石川県金沢市）

小学生の通学路の安全確保や自転車のルール遵守・マナー向上など、自転車・歩行者の交通安全のための取り組みを実施。自転車の通行量が多い地域を対象に地域住民と協働で自転車走行指導帯を設置するとともに、街頭での交通安全指導も実施。

1. 取り組みの概要

（1）取り組みの背景と目的

金沢市では平成 23 年 3 月に「金沢市まちなか自転車利用環境向上計画」を策定し、自転車の利用環境向上を図る取り組みを進めているが、同市の中心部にある中央小学校の周辺では、朝夕の時間帯（特に午前 7～9 時）において、高校生をはじめ通学・通勤の自転車の交通量が多く、歩行者・自転車・クルマそれぞれに危険な状態がみられ、交通弱者である小学生や朝のゴミ出しをする高齢者にとっては危険な状況にあった。

こうしたなか、地元の NGO 団体である「地球の友・金沢」の提案のもと、地域で対策を協議し、市民が安全に通行できる環境の構築を目指した取り組みを行うこととなった。

（2）取り組み内容

「地球の友・金沢」と協働で地域住民や警察、学校関係者（中央小学校と周辺の高校）、行政（金沢市）等から構成される検討会を設置。課題を共有化し、その対策案について検討した結果、路面標示において自転車が本来走行すべき車道左側をわかりやすく明示した自転車走行指導帯を整備した。

また、「地球の友・金沢」では、高校生とともに自転車走行ルールを示すマニュアルマップを作成し、検討会メンバーによる街頭指導を実施して、自転車ルール遵守・マナー向上を啓発した。

検討会等での主な取り組み経緯は以下のとおりである。

2011 年 7 月 17 日	・自転車走行を安全にするための路上にラインを引くにあたり、「地球の友・金沢」が走行路面に危険なところはないかを現地調査
2011 年 7 月 29 日	・第 1 回交通安全対策検討会（ワークショップ形式）を開催。参加者 27 名
2011 年 8 月 26 日	・第 2 回交通安全対策検討会（ワークショップ形式）を開催。参加者 25 名 ・住民発案の対策案の方向性を決定
2011 年 9 月 28 日	・高校生の自転車通学路の代替ルートについて、「地球の友・金沢」が現地調査を実施
2011 年 10 月 14 日	・第 3 回交通安全対策検討会を開催。参加者 25 名 ・交通安全対策として、①自転車走行指導帯整備（ハード対策）と②街頭指導（ソフト対策）の 2 つの柱を決定
2011 年 10 月 18 日	・検討会メンバーによる街頭指導（1 回目）
2011 年 11 月 16 日	・検討会メンバーによる街頭指導（2 回目）

2012年1月31日	・第4回交通安全対策検討会を開催。参加者31名 ・歩行者・自転車利用者やクルマのドライバーへのアンケート結果をもとに、本事業の効果について報告。次年度も街頭指導を継続実施することを決定
2012年4月11日	・検討会メンバーによる街頭指導（3回目）

（3）連携先機関

本事業は、「地球の友・金沢」と金沢市歩ける環境推進課が中心となり、警察や学校関係者の協力を得ながら実施した。金沢市は、主にハード整備である自転車走行指導帯設置を行い、「地球の友・金沢」は住民や学校などとの話し合いを通して、住民参加による交通安全対策案を決めたり、高校生への交通安全教育や資料づくりに携わった。

また、検討会メンバーによる街頭での交通安全指導では、行政と市民との協働は効果的であった。

（4）事業体制

当該事業予算	年間 4,000 千円
本事業担当職員数	2人（歩ける環境推進課1人，道路管理課1人）

2. 取り組みの成果・効果

（1）実績

平成22～23年度の実績は以下のとおりである。

- ・自転車走行指導帯の整備（2.2km）
- ・地元住民、警察、学校関係者（小学校、近隣高校）と協働での街頭指導 N=3回

（2）成果

自転車利用者が車道の左側通行をするようになり、中央小学校前の歩道（自転車通行不可）では歩行者と自転車の動線が分離されたことによって通学児童をはじめとした歩行者・自転車・クルマそれぞれの安全性は向上した。

対策実施前後において実施したアンケート結果によると、安全性が向上したと感じる歩行者・自転車利用者・ドライバーが増加。自転車利用者にとっては、「車道を走っていてクルマに文句を言われなくなった」、クルマのドライバーからは「自転車が交通ルールを守る意識が見られるようになった」「自転車の逆走がなくなった」等の意見が寄せられている。

3. 取り組みにおける課題・留意点と工夫点

（1）課題・留意点

- ・住民に対する説明を丁寧に進め、警察や高校などと課題を共有したことで、各々が無関心ではなく、その後の積極的な協力体制が構築できたと思われる。
- ・誰もが正しい交通ルールを理解し、安全な環境を創出するためにはハード整備とソフト施策を並行して進めることが重要。

（2）取り組みにおける工夫点

- ・地元住民、警察、高校など関係者が一同に会し、課題を共有化し、自転車走行指導帯整

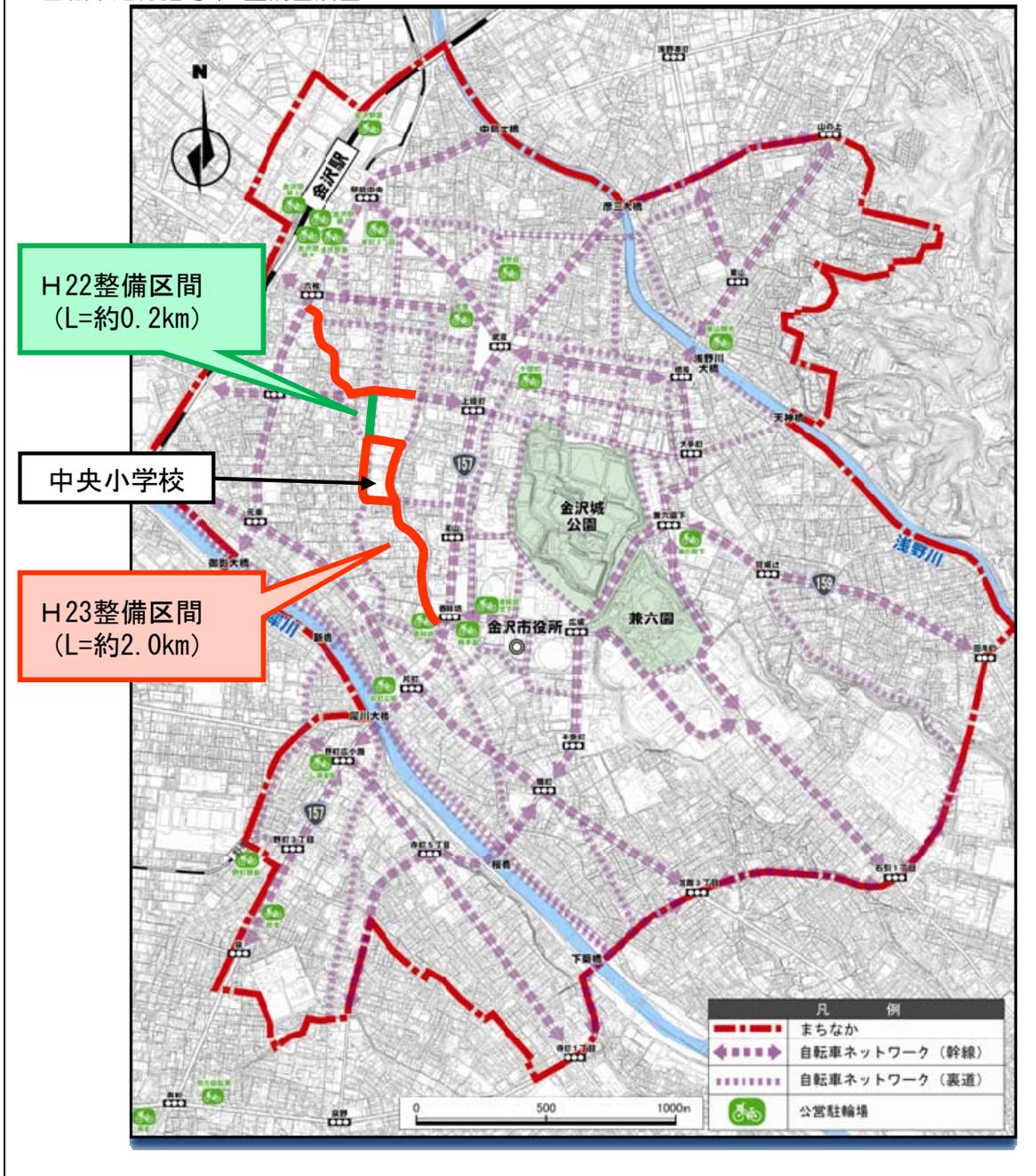
備後、皆で実際に街頭指導に立つことにより、自転車の正しい走行ルールを認識し、交通安全意識の向上を図ることができた。

(3) 今後の課題・展望

- ・本事業での成功経験を踏まえ、「金沢市まちなか自転車利用環境向上計画」に基づき、今後もまちなかを中心に自転車走行指導帯を整備していく予定。

4. 取り組みの状況

■自転車走行指導帯 整備箇所図



■中央小学校正門前の自転車走行指導帯



本事業の関連 URL <http://www4.city.kanazawa.lg.jp/11310/taisaku/walk/arukeru.html>

市町村人口 (平成 23 年 3 月 31 日)	交通安全担当職員数		
	専任	兼任	計
445,100 人	0	2	2
年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年
交通事故件数	3,093	2,946	2,714

【本件連絡先】

石川県金沢市

歩ける環境推進課

076-220-2371